



## 教育センター・育成センター所報

# GALILEI



柏崎工業高校  
「作ってみよう！LEDライトの製作」



「カイロでぽっかぽか」  
中学生もスタッフとして活躍

### 青少年のための 科学の祭典2013 柏崎刈羽大会（秋）



実験ショー「科学クイズ！」



「コップでトルネード」

## CONTENTS

- 今月の巻頭言 ..... P 1
  - ★時代が変わっても変わらないもの  
柏崎市教育委員会 教育部長 本間 敏博
- 教育センターだより ..... P 2
  - ★アクセス（教育研究班） ..... P 2
  - ★プロジェクト K（科学技術教育センター） ..... P 6
  - ★心の窓（教育相談班） ..... P 10
- 12月の行事予定表 ..... P 12
- 所員随想「つれづれ」 ..... P 12
  - ★合唱祭 ふれあいルーム指導員 寺澤 朋法
- 教育センター上半期の参加・利用状況 ..... P 13

平成25年11月号

柏崎市立教育センター 柏崎市青少年育成センター

## 時代が変わっても変わらないもの



柏崎市教育委員会  
教育部長 本間 敏博

先日、40年来の高校時代の友人から電話があった。「柏崎へ〇日にAとBが行くから安い宿と安い酒、それに美味しいものを頼む」という相変わらずの調子であった。

この友人2人とは、小中高とも別々であったが、高校時代3年間同じT T競技で互いに切磋琢磨した仲で一応はライバル関係でもあった。1年生の時から「こいつに勝たなければインターハイにも国体にも行けない」とお互いが何としても勝ちたいための練習に汗を流したものである。幸いにも3年間で3人ともインターハイや国体、全日本大会に出場することができた。同じ目標に向かってしのぎを削る相手がいたことにより、努力し続けることや相手への敬意を持つこと等々を学び、自分自身を成長させてくれたことに感謝したい。後の社会人生活の中において自然と活かされてきたものと思っている。

卒業後はそれぞれ別の道に進み、今では、一人はアパレル関係の会社社長に、もう一人は金融機関の管理職に、3人目はそれなりの地方公務員として現役である。互いに組織の人間として40年、景気の浮き沈みに一喜一憂しながらもどうにか還暦一步手前を迎えられそうである。

さて、この3人の酒席での会話が仕事のことで盛り上がり「その会社や組織を成長発展させてくれるものは、その時々政治や経済状況ではない。そこに置かれている立場や職場環境に染まりながらも、そんな中でどんな人づくりができるか、また、その人をいかにして育て続けることができるか、これが退職するまでの自分の仕事である。」と誰となく語り始めた。様々な人間関係の中での人づくりの大切さは、それぞれの異なる40年という経験からの実感に痛感させられるものがある。

少子・高齢化や情報化等々の影響もあって、物事の捉え方や個々の考え方も変わってきている。周りの変化に翻弄されながらも、与えられたその時代の環境の中でここまで成長できたことに感謝したい。時代が変わっても変わらないものがそこにあることを改めて知らされた。

お互いの還暦祝いに40年前の借りを返す試合をする約束をし、悪酔いをしないうちにお開きとした。

## ■ 特集1

### 中学生が参加しての「いきいきゲーム」！

～主体性、創造性、関係性、社会性を伸ばす活動として～ ◆11/4(月) いきいきゲーム

○いきいきゲームとは・・・

子どもたちが7チームに分かれ、保有する資源(以下、紙)と技術(以下はさみ、定規)で製品を作り交換所で模擬現金と引き換えます。ゲームは終了時の模擬現金量で競います。特徴的なのは突然起こる恐慌、資源と技術の奪い合いと交渉。子供たちはウィンウィンの関係づくりが不可欠なことに気が付いていきます。限られた時間での仲間同士での意思決定場面もあり、これらのプロセスを通して表題にあるような力を習得する内容になっています。



他のチームと交渉を重ねるメンバーたち

○見学された先生方の感想

「子どもたちがメンバーと力を合わせ、その都度意思決定をしていかなければ進まない課題設定になっていると感じました。これにより、ねらっている『主体性』『創造性』『社会性』『関係性』が身に付くと思います。自校でも採用してみたいと思います。(一日日程という点が気になりますが・・・)

「いきいきゲームのように役割意識をもって課題解決にあたる活動は今の子どもたちの実態改善に役立つと思います。繰り返し体験することにより、経験→知識→知恵になっていくことを意識化させられると思いました。何について、どう振り返るか、それを書かせることで気づかせ、確実に次につながると思いました。」

## ■ 特集2

### スーパーサイエンスハイスクール(SSH)指定校の生徒が小中学生に教える！

◆11/18(月) SSH 柏崎サイエンススクール

スーパーサイエンスハイスクールに指定されている柏崎高校では、地域との連携の一環として、高校生が科学の魅力を小中学生に伝える授業を行っています。今回は新道小学校の6年生が参加し、紫キャベツを指示薬とした化学実験、自分の細胞を観察する生物実験、ベルヌーイの法則(高速側が密度が下がる)を扱う物理実験、倍数、約数を応用したカードによる数学の授業等を体験しました。理数系の高校、大学が存在する立地条件を生かした科学技術教育の推進を考えていきたいと思います。



高校生からの指導の下、実験を行う小学生(白衣着用)

参加した小学生の感想の中には「高校生がやさしく教えてくれて楽しく学べました。」「理科って楽しいなと思いました。最近理科がとっても好きな教科になってきたので、学校の授業も頑張りたいと思います。」など、今回の体験が、将来の理数科への進路選択に好影響を及ぼすことが期待されるものが多くありました。

## ■ 実施研修講座を振り返って

### 学力数値は良い授業を行った結果「上がるもの」

◆10/22(火) 授業づくりゼミ④ 「Web 配信や全国学テ、PISA 問題からの授業づくり」

学校での学びとは、各種テスト問題ができるようになることだけを目的とはしていません。主体的に課題を解決していく中で人格の完成を目指すことも目的です。従って各種テストの結果から補充的な取組を行うだけではなく、単元構造の段階から育てたい力が主体的に身に付く魅力的な授業づくりを進めていく必要があります。この講座では、参加者が各種問題に触れた後に、結果的にこれらの問題にも対応できる力を身に着けるような魅力的な単元づくり、授業づくりを実際に行ってみました。学力数値は、良い授業を行った結果「上がるもの」という考え方で教材研究です。



問題を解いた後、単元構想を語る参加者

### 自己肯定感をもつことは、生きていく上での糧に

◆10/24(木) 子どもの虐待防止講演会 講師 真生会富山病院 心療内科部長 明橋 大二 様

この講座は、子どもの虐待防止を目的に真生会富山病院心療内科部長、明橋大二様をお迎えして行いました。医師としての任務を遂行しながら、TV に出演したり出版をしたりして子どもの虐待を防止していこうという、強い姿勢が伝わってくる講座でした。「甘えることもできない子は自立もできない」等、「はっ」とさせられる言葉も数々ありました。しかし、明橋先生が一貫して語っていたことは「自己肯定感」を高めることの必要性です。それは保護者だけでなく、子どもについても同様である、ということです。



講師の明橋大二先生

### 現象の本質に触れさせているか？

◆11/15(金) キャリア教育からみる教育活動の見直し  
講師 上越教育大学准教授 白木 みどり 様

この講座はキャリア教育の推進を目的に、上越教育大学准教授、白木みどり様をお迎えして行いました。その中でキャリアの視点からの教育活動の見直しについては「一人一人の自己肯定感を高めるために、ほめる要因を意図的に作る事が大事」というご指導をいただきました。また、現象だけを見させるのではなく、その中に隠れている様々なつながりを捉えていくことで本質的なことが見えてくる、というご指摘もいただきました。道徳、総合的な学習の時間、特別活動とキャリア教育の関連にも触れていただき、「生き方教育」への理解が深まる講座となりました。



講師の白木みどり教授

## ■ 柏崎教育情報支援システム/コンテンツサーバ情報

### 資料を登録しました

#### ◆コンテンツサーバ(スクールオフィス)

登録日	資料名
11/18	NO.29_小学校時数管理.pdf (スクールオフィス小学校時数管理のテキスト第 1.1 版)

#### ◆コンテンツサーバ(教育委員会資料)

登録日	資料名
11/19	ALT News Letter 第 24 号

## ■ 情報関連講習会のご案内

### 12 月に実施される講習会

#### ◆H25.12.4(水) スクールオフィス成績管理小学校指導要録様式 2 作成講習

スクールオフィスの成績管理サブシステムにより、指導要録様式 2 を作成するための設定と、作成手順について学習します。この講座は小学校の教職員が対象です。

#### ◆H25.12.5(木) スクールオフィス成績管理中学校指導要録様式 2 作成講習

スクールオフィスの成績管理サブシステムにより、指導要録様式 2 を作成するための設定と、作成手順について学習します。この講座は中学校の教職員が対象です。

#### ◆H25.12.18(水) 疑問やトラブルに答える フリーQ&A その7

ICT 活用に関すること、パソコンのトラブルや疑問など、自由に相談できる機会を設けました。他の講座のような事前申し込みは不要ですが、前日までにメールや電話で相談内容をご連絡ください。

#### ◆H25.12.24(火) デジタルビデオ編集入門

Windows7 で利用できる WindowsLive ムービーメーカーと WindowsDVD メーカーを使って、デジカメやムービーカメラで撮影した映像の簡単な編集手順、DVD への書き込み手順を学習します。WindowsXP の頃のムービーメーカーに比べ、機能がかなり簡素化されていますのでご了承ください。



## ■ セキュリティ情報

### セキュリティホール情報(Windows)

マイクロソフトより、11 月 13 日付で 11 月の定期更新として、Windows などの重要な更新が公開されました。最大深刻度「緊急」が 3 件、「重要」が 5 件です。まだ Update が済んでいないようでしたら、至急 Windows Update などを実施していただくようお願いします。

### セキュリティホール情報(一太郎シリーズ)

一太郎シリーズ(2006 以降、ビューアも含む)にファイルを開くだけで悪意のある第三者にコンピュータを制御されてしまう可能性がある脆弱性が見つかり、アップデートモジュールが提供されています。利用している方は、出来るだけ早く以下からアップデートモジュールを取得して適用してください。

<http://www.justsystems.com/jp/info/js13003.html>

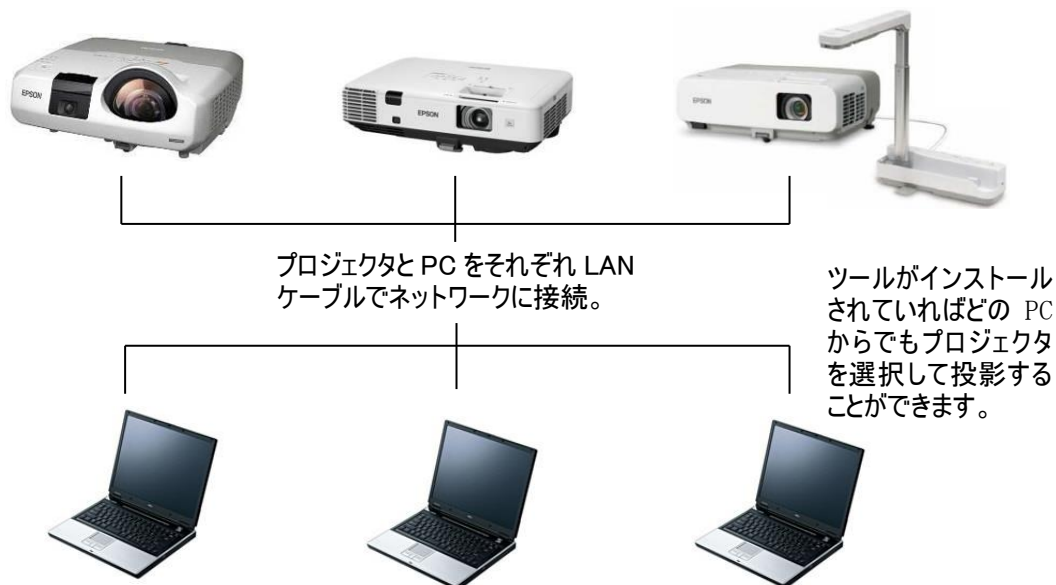
なお、2006 より古いバージョンの一太郎については既にこのようなアップデートモジュールの提供も行われていませんので、業務での使用は控えた方が良いでしょう。

## ■ 今年度整備機器の活用を！（その2）

### LAN を使ってパソコンの画面をプロジェクタに投影できます

今年度整備した機器を含め、EPSON のプロジェクタでは LAN を利用してパソコンの映像をプロジェクタに投影する「EasyMP Network Projection」が利用できます。このツールは、RGB ケーブルや HDMI ケーブルを使用する代わりに、プロジェクタを LAN に接続してパソコンの画面を投影できるものです。

- ・RGB ケーブルなどでは届かない距離から操作したい
- ・PC 教室のような複数台の PC がある環境で、投影する PC を切り替えたいなどの使い方をしたい場合に便利です。



このツールを利用するには、事前にパソコン側にソフトウェアをインストールし（プロジェクタに付属のメディアを使用）、プロジェクタに固定の IP アドレスを割り当てる必要がありますので、試してみたい方は教育センターにご相談ください。

IP アドレスなどを設定して、投影元にしたい PC でこのツールを開くと、以下のような画面が表示されます。投影先にしたいプロジェクタにチェックを入れて「接続する」をクリックするだけで OK です。

EasyMP Network Projection Ver.2.81 - マニュアルモード -

Auto 自動検索 指定検索 プロファイル

プロジェクターを選択し接続してください。

ステータス	プロジェクター名	IPアドレス
<input checked="" type="checkbox"/> 待機中	EBEC6063	172....

1) プロジェクタを選択  
(同一ネットワーク上のプロジェクタが全てリストアップされます。複数台選択すれば同じ映像を複数台に同時に投影できます。)

2) 「接続する」をクリック

プロファイルに保存 リストのクリア

割り込み接続を禁止する

マルチディスプレイを使用する

オプション設定

トラブルシューティング 接続する

## 研修会・事業の様子

### ○ 秋の植物観察会 (10月18日実施)

◇会場 鵜川地区(市野新田・綾子舞会館周辺)

◇講師 相澤 陽一 様(植物研究グループ会長)

◇内容

秋晴れの中、綾子舞会館周辺と市野新田を歩きました。サラシナショウマ、ムラサキシキブ、ヤマブドウ・・・秋の植物をたくさん見る事ができました。

ブナ林の中で、相澤先生から溢れ出す知識と教養を少しずつわけていただき、有意義な観察会となりました。



講師 相澤陽一様

#### 参加者の感想

「植物の名前をすべて覚えることはできませんが、それにまつわるエピソードなどお話をたくさん聞くことができました。秋を堪能できた半日でした。」



### ○ 要請研修『カルメ焼きづくり』(9月10日実施) 剣野小学校科学クラブ

◇内容

剣野小学校の科学クラブに今年度は4回行かせていただきました。今回は最終日。重曹の熱分解による二酸化炭素の発生を利用した「カルメ焼き」をしました。カルメ焼きの成功のポイントは、砂糖の温度の上げ方と、重曹卵の入るタイミングそしてかきまぜ方です。目の前で起こる不思議な反応を楽しみながら、甘くておいしいカルメ焼きができあがり、楽しいクラブ活動となりました。



ふくらむカルメ焼き

#### 児童の感想

「成功へのコツを注意しながらグループでカルメ焼きに取り組みました。成功してよかったです！」

### ○ 中3「地球の動き」(10月31日実施)

◇内容

今年度購入した太陽望遠鏡やソーラー Scope、望遠鏡を屋外で実際に操作して黒点の観察などを行う予定でしたが、あいにくの曇天で操作方法の実習を行いました。また、空間をイメージする上でのちょっとした工夫を紹介しました。研修の最後には無料フリーソフト「MITAKA」を紹介しました。実際に操作してその便利さを実感した先生方が多かったようです。



天体教材の紹介

### 参加者の感想

「生徒の空間から平面、平面から空間への見方にいつも苦勞します。今日の研修で学んだ望遠鏡などを利用し、まずは本物を生徒に見せて感動させ、紹介された MITAKA のフリーソフトで興味関心を広げさせながら学習をしたいと思いました。」



### <天体観察で貸出可能な備品>

太陽望遠鏡



ソーラースコープ



反射式望遠鏡



## ○ 教職員理科研究発表会（11月12日実施）

◇講師 稲田 結美 様（上越教育大学）

◇内容

上越科学技術教育研究会主催の教職員理科研究発表会が行われました。今年度は柏崎開催だったので、柏崎刈羽の理科教員発表会と同時開催となりました。第一部は学習指導部門と教材開発部門にわかれ、23の発表がありました。授業の進め方に困ったら、いろいろな先生方の実践の中からヒントを得るのもよいと思います。理科という一つの教科で学習



の進め方の工夫や教材について情報をやりとりできるこの会の良さを感じた一日でした。第二部は上越教育大学の稲田結美先生のご講話でした。理科を頑張ろうと考えていらっしゃる先生方は、たくさんの刺激を受けられるはずです。来年度も多くのご参加をお待ちしています。

### 参加者の感想

「たくさんのアイデアや手法を知ることができ、明日からの授業に早速使いたいと考えます。」

「理科について語りあうチャンスは希少であるからこそ、こういった機会を大事に理科の輪を広げる活動を大事にしていきたいと思いました。」

## ○ 中学校『放射線教育研修会』（11月19日実施）

◇講師 舟生 武史 様（e-サイエンスコミュニケーション）

◇会場 柏崎原子力広報センター

◇内容

放射線学習は現在、大変重要な学習です。「正しく恐れる」をキーワードに、今回は中学校の先生方を対象に放射線の特徴を霧箱やさまざまな測定器を使用しながら学びました。また、原子力広報センター





とともに作ったパワーポイントを紹介しました。各学校での授業、教職員研修に活用できるよう近々データを各学校に配布する予定です。

### 参加者の感想

「子供たちに正しく理解させるために、教師はより勉強をしないといけないな感じました。」

「盛りだくさんの内容をどのような時数の中で、計画的におさえていくかを検討する必要があると考えます。」

## 青少年のための科学の祭典 2013 秋・無事終了 (11月16日実施)

### ♡子どもも大人もにっこにこ♡

11月16日(土)恒例の科学の祭典を新潟工科大学で開催しました。地元の企業さんや、新潟工科大学の学生さん、柏崎高校SSH、柏崎工業高校、東中学校科学部の生徒さん、そして柏刈地域の教職員の皆さんからご協力いただき無事終了することができました。秋の祭典は春の祭典とは違い、工科大学の学園祭はないので祭典のみの単独開催です。それにも関わらず、1500人もの来場者を迎えました。秋の開催では過去最高の来場者数でした。今回、22回目を迎える科学の祭典が地元の科学技術教育振興の行事として定着し、子どもたちの科学技術への興味関心を育ててきたこと、さまざまな立場の方々が力を結集して一つのイベントを盛り上げてきたこの活動の尊さと歴史を感じました。

一緒に柏崎刈羽の児童生徒の科学技術に向ける芽を育て、目を輝かせてはみませんか?ぜひ、来年度も科学の祭典にご協力をお願いします。この活動にブーススタッフとして参加することで、心の中に温かい何かが残る体験ができること間違いなしです。この活動を通して中学生、高校生、大学生、大人の輪が広がっていくことを願っています。



実験ショー「みんなで答えて!科学クイズ」



オープニングとお昼の実験ショーは「みんなで答えて!科学クイズ」を行いました。大人でも「ん?」って考えてしまう問題を集めました。たとえば、「Q. ニンジンがつり合ってひもでつるされています。そのひものところでニンジンを真っ二つに切ると、どちらが重いでしょうか?」答えは次のうちどれでしょう。考えてみてください。



「①同じ ②Aの方が重い ③Bの方が重い。」

実験ショーでの答え合わせは、実際に実験をしながら確認していきました。これからも、「なんでそうなるのか?」という不思議に思ったり考えたりすることを大事にしてほしいと思います。



放射線の飛跡をみよう!



スライムづくりに挑戦!



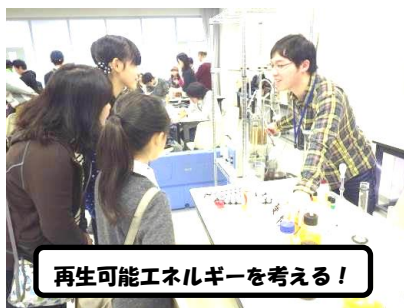
妙高クラフト・カラマツの木を使って



LEDライトを作ろう!



化石のレプリカ作り!



再生可能エネルギーを考える!

## 来場者さんの声



子ども達から

「毎年来てはいるけれど、少しずつ新しいブースがあって、いつも楽しいです。」  
「ヨーグルトの菌を顕微鏡でみる事ができて面白かったです。」  
「吹き玉の仕組みが分かりました。漏斗の違いで吹きあがらないことがあると分かりました。」

保護者から

「学校からチラシをもって来た日から楽しみにしていました。無料でこんなにたくさん子供が遊べて楽しめるのがこのイベントの魅力です。」  
「にぎやかで子ども達がいきいきしていていいですね。」  
「ブーススタッフの中学生や、高校生ががんばっていました。」



光のたまご

～インテリアにどうでしょう～

# 12月の予定

## ○上越の理科を語る会

- ◇日時 12月1日(日)
- ◇会場 高陽荘
- ◇講師 上越教育大学准教授 五百川 裕 様
- ◇演題 「日本の植物相の成り立ち」

興味のある方は教育センター科学まで(TEL20-0212)までご連絡ください。だれでも参加できる講演会です。

## ○小学校6年生『電気の利用』

- ◇日時 12月12日(木)
- ◇会場 教育センター
- ◇内容 「手回し発電機」「コンデンサ」「発光ダイオード」など、新しい教材が多い単元です。教科書の実験を実際に行いながら留意点についてしっかりと研修します。この単元でのものづくりも計画中です。



# 心の窓

No.171

〒945 - 1355

柏崎市大字軽井川4803-2

TEL 0257(23)4591 (代表)

FAX 0257(23)4610

E-mail soudan@kenet.ed.jp



## 将来を見据えて



教育センターで行われる特別支援教育の研修に、度々参加させていただき、毎回とても勉強させていただいております。その中で、私が印象に残ったことを、ここで紹介させていただきたいと思います。

特別支援教育研修の第1回目は、柏崎市教育委員会学校教育課の今井由実子先生により、「将来を見据えた指導・支援」というテーマで始まりました。特別支援学級を経営する上で、小学校、中学校初期の段階から中学校卒業後を見通し、卒業後にどのような道に進みたいか、どのような子どもに育てほしいか、どのような進路を選択するかなど、本人の将来を見据えた支援が大切であるとのことでした。なぜなら、中学校3年生の進路選択時点で考え始めていては、間に合わない可能性があるからです。必要な手続きが間に合わないということもありますが、他にも、本人がその進路を選択する上で必要な力、身につけておかなければいけないスキルを習得するまでも間に合わない可能性もあるのです。大概の力やスキルは、時間をかけて、徐々に成長していくものです。必要なそのときが迫っていたとしても、一瞬にして身につけることはできません。そのために、早いうちから将来を見据えて、その将来像を本人や保護者とも共有しながら、支援を勧めていく必要があるということでした。

研修では、特別支援教育を例に挙げての内容でしたが、「将来を見据えた指導・支援」ということは、子どもたちへの支援全般に当てはまるのではないのでしょうか。私は、「将来を見据えて」という言葉が子どもたちへの支援の根底にあるように感じました。

発達障害傾向のある子どものみならず、どの子にもそれぞれ苦手や課題があると思います(大なり小なりはあると思いますが)。必要な力やスキルを身につけるということは、自分の苦手や課題と向き合っていくことにもなります。子どもの苦手や課題にあえて挑戦させるということは、保護者や周りの支援者にとっても大変なことです。回避や反発などの拒否反応を示すであろうことが容易に想像できる働きかけをしなければいけないときもあり、伝える側としても頭を悩ませ、エネルギーを使うことだと思います。苦手なことや初めてやることに、もたもたと取り掛かっている様子を見ると、手を出したくなることもあるでしょう。しかし、その苦手をいつまでも誰かが肩代わりしてあげることにはできません。将来、その苦手と対面せざるを得なくなったとき、対処できずに困り果ててしまうのは子ども自身なのです。子どもが苦手や課題に向き合い、必要な力やスキルを身につける機会を得られるように、周りが導いてあげることも、ときには必要なことと思います。

私自身、子どもたちの「将来を見据えて」、そのために今できることは何か、必要な支援は何かを考えながら、子どもたちの成長を少しでもお手伝いできるよう、努めて参りたいと思います。

(文責 相談員 鈴木皓子)



## ☆ふれあいルームより☆

木々の葉も色を変え、スポーツや芸術、そして読書に親しみやすい時期となりました。ふれあいルームに来ている子どもたちも、芸術に親しむ体験活動「陶芸教室」を行いました。



2回目は、できた形に模様を描きました。どんな模様にしようか、どんな作品をイメージしながら、お互いにかめました。

そして、3回目。窯から焼きあがった作品を取り出しました。子どもたちは、イメージ通りの作品、また、イメージ以上の作品に感動していました。最後に、底をやすりでやさしく削り、磨きをかけて完成しました。

参加した子どもたちは、一人一人が気持ちよく作品がった素敵な作品を持ちたくさんの学びを得ること展示してみんなで鑑賞会



3回の体験活動で、個性あふれる作品作りに挑戦しました。

1回目は、講師の方から粘土のこね方、成型の仕方を学んだあと、粘土と格闘しながら思い思いの形を熱心に表現しました。



どんな形を作りたいですか？



たり、色を付けたりしま色にしようか、完成したかわり合い、作業を進

た自分の作品をていね自分で思っていたイメ

最後

講師の方とのかかわり合いながら、一作りに励むことができました。出来上帰ることができました。この活動でも、ができました。出来上がった作品は、を行っていきたいと考えています。

形の無いところから形を作り上げる造形活動は、指先の造形能力を鍛えるとともに、イメージを広げたり、感性を育てたりすることにつながる有意義な活動です。

この3回の活動で、子どもたちは、形作り、模様や色付、焼きあがった作品の鑑賞などを通して、互いのがんばりを認め合い、自分の感性を磨くことができました。

(ふれあいルーム指導員 神林 治男)

### 教育相談班 12月の予定

#### 《カウンセリングルーム》

いろいろ体験グループ (SST)

- 6日(金) 16:30~17:30 小学生Aグループ
- 13日(金) 16:30~17:30 小学生Bグループ
- 20日(金) 16:30~17:30 小学生Cグループ
- 26日(木) 18:30~20:00 中学生第1グループ
- 27日(金) 18:30~20:00 中学生第2グループ



#### 《ふれあいルーム》

- 3日(火) ソフィアセンター
- 4日(水) そば打ち体験
- 12日(木)・13日(金) 保護者面談
- 17日(火) スケート教室 ①
- 20日(金) 後期前半通級終了

12月の行事予定表		
日	曜	研修・行事・会議
1	日	
2	月	
3	火	研: どの子どもこぼれ落とさない授業(比角小)14:00- ふ: ソフィアセンター
4	水	研: 歯の健康講演会 情: S0成績管理小学指導要録 ふ: 【そば打ち体験】
5	木	情: S0成績管理中学指導要録
6	金	相: いろいろ体験グループ(小A)16:30-
7	土	
8	日	
9	月	相: 班会議13:00-
10	火	研: 性教育14:00-
11	水	
12	木	研: 21世紀型学力とは 科: 小6「電気の利用」15:00-  ふ: 保護者面談
13	金	ふ: 保護者面談 相: いろいろ体験グループ(小B)16:30-
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	ふ: スケート教室9:30~11:30アクアパーク
18	水	情: フリーQ&A
19	木	
20	金	ふ: 後期前半終了 相: いろいろ体験グループ(小C)16:30-
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	情: デジタルビデオ編集入門
25	水	研: 防災教育講演会(ソフィア)13:45- 研: スクールサポート事例研修②
26	木	研: 授業づくりゼミ⑤ 相: いろいろ体験グループ(中①)18:30-
27	金	相: いろいろ体験グループ(中②)18:30-
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	
研: 教育研究班、科・科学技術教育、相・教育相談班		
ふ: ふれあいルーム、情・情報教育研修、育・育成センター		



所 員 随 想

## 合唱祭

ふれあいルーム指導員 寺澤 朋法

先日、ある学校の方から声を掛けていただき合唱祭を見に行ってきました。合唱祭の会場に入るとは、自分が中学校で合唱祭に出ていた時以来だったので、とても懐かしい気持ちになりました。

私の中学校は子供が少なく、クラス対抗の審査もなかったのですが、生徒や先生から審査員が選ばれて審査するシステムに驚きました。優秀賞を目指して生徒が真剣に歌い競う姿に感動しました。

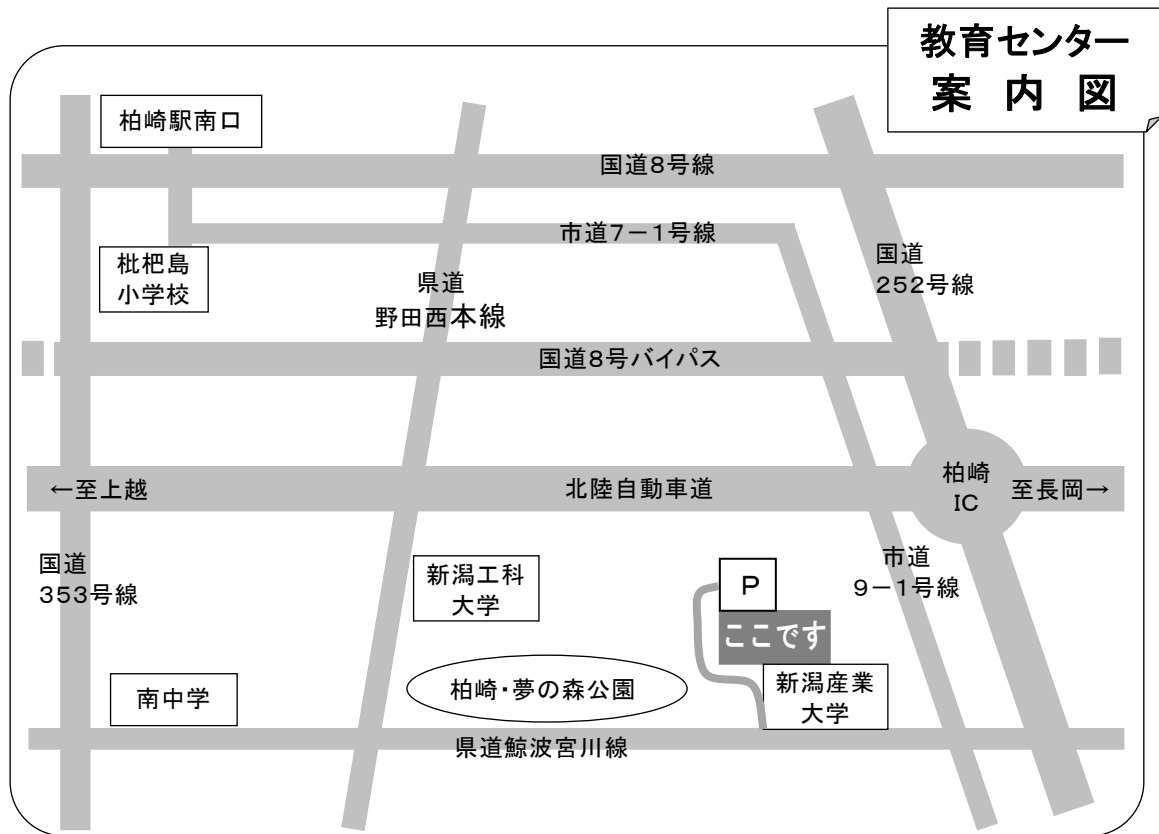
まだ恥ずかしさの残る1年生、1年生には負けられないとプライドを見せる2年生、クラスが団結して完成度の高い合唱を聴かせてくれた3年生、当たり前ですが、3年生が一番上手かったです。でも、1年生、2年生も学校で成長して行く中で健康的な体や互いに協力する精神を育てていきます。やがて3年生になる頃には、素晴らしい合唱を聴かせられるまでになっているでしょう。子供たちの成長を予感することが出来ました。

以前ふれあいルームに通っていた生徒もクラスに戻り合唱に参加していました。緊張する場面がとりわけ苦手だったその子は、合唱が終わった後、同級生と肩を抱きあって喜びを分かち合っていました。本当に良かったね♪

## 教育センター上半期の参加・利用状況(4月～9月)

研修講座・事業名		4月		5月		6月		7月		8月		9月		H25上半期 利用合計数		H24上半期 利用合計数		対前年度比		
		回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	%	%	
教育 研究 班	研修講座(情報・科学を除く) *	2	103	13	337	12	174	12	281	11	302	5	119	55	1,316	45	1,432	122.2	91.9	
	うち他団体との共催講座	0	0	2	44	4	96	4	109	2	61	1	32	13	342	12	710	108.3	48.2	
	上記以外で開催した研修会等	2	90	3	125	2	160	0	0	2	110	0	0	9	485	6	260	150.0	186.5	
	その他相談 (TEL,メール等)		89		119		127		157		87		93		672		414		162.3	
	教育情報化研修講座 *	3	20	6	22	6	13	15	109	7	97	3	6	40	267	43	254	93.0	105.1	
	情報教育主事の要請支援等	11	89	15	80	10	219	12	193	5	11	12	250	65	842	54	493	120.4	170.8	
	教科書センター利用閲覧数(人)		0		5		65		21		4		2		97		136		71.3	
科学 技術 教育	理科研修講座 *	2	86	3	34	4	40	2	28	4	43	1	8	16	239	15	171	106.7	139.8	
	学校等の要請研修 (すべての参加者を含む)	0	0	0	0	4	269	8	397	1	131	5	229	18	1,026	6	385	300.0	266.5	
	科学教育振興事業 (科学の祭典・科学教室等) (人)		0		0		2,500		0		985		1,966		5,451		4,828		112.9	
	理科教育の相談・支援(件)		21		46		39		33		22		23		184		100		184.0	
	理科教材・物品の貸出(件)		5		6		4		11		14		4		44		35		125.7	
教育センター研修講座 (*印の合計)		7	209	22	393	22	227	29	418	22	442	9	133	111	1,822	103	1,857	107.8	98.1	
教育 相談 班	カウンセリングルーム 来室相談	新規相談 (件)	44		19		19		22		24		22		150		132		113.6	
		のべ相談 (件)	50		47		51		64		72		60		344		378		91.0	
	学校訪問相談(回)		4		14		13		10		1		8		50		35		142.9	
	電話相談(件)		0		1		1		0		0		5		7		10		70.0	
	ソーシャルスキルトレーニング	0	0	5	30	5	28	5	28	5	30	0	0	20	116	20	96	100.0	120.8	
	ふれあいルーム 在籍人数	小学生 (人)		2		2		2		2		2		2		12		18		66.7
		中学生 (人)		7		7		7		7		7		12		47		70		67.1
	ふれあいルーム通級日数(日)		16		21		20		16		3		19		95		95		100.0	
	ふれあいルーム 通級のべ人数	小学生 (人)		5		19		21		16		2		10		73		158		46.2
中学生 (人)			31		52		65		89		15		130		382		226		169.0	
ふれあいルーム学校復帰人数 (部分復帰を含む)		7		7		7		7		7		7		45		58		77.6		
教育団体、PTA、市民等の利用(人)		10		68		88		78		64		87		395		895		44.1		
教育センター事業の 参加・利用総数			647		1,024		3,896		1,537		2,014		3,022		12,140		10,438		116.3	

※斜体の数字は、参加・利用総数には含まない。



〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

### 教科書センター利用案内

柏崎刈羽の小・中学校で使用している教科書のほか、各教科書会社の小・中学校の教科書各2冊、高等学校の教科書各1冊を備え付けています。どなたでも閲覧することができます。ほか、小・中学校の教科書は、貸し出しも行っています。

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（電話相談）TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成25年11月発行

=====